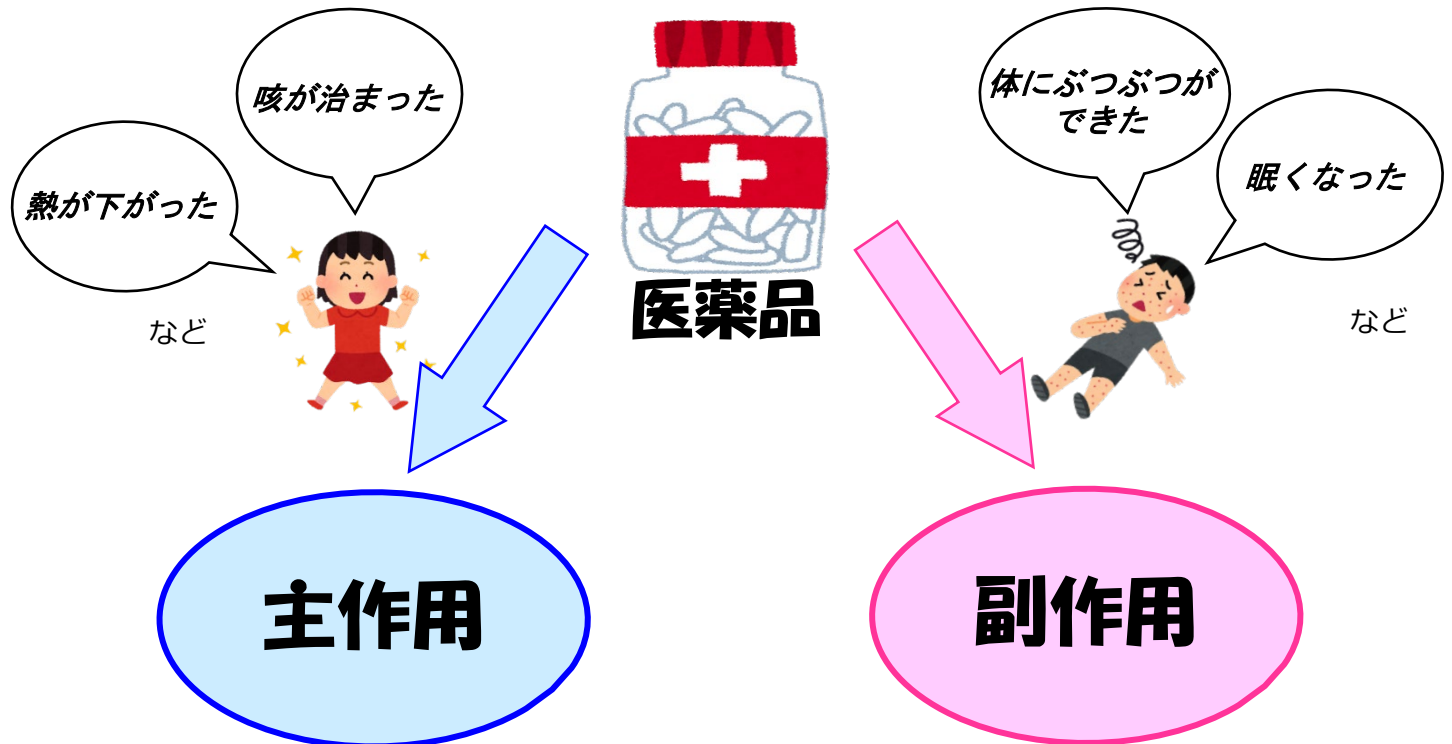


医薬品の主作用・副作用



- ・ 本来の目的である病気の治療など、好ましい働き
- ・ この働きが**私たちの持つ自然治癒力を助けてくれる**

- ・ 本来の目的以外の好ましくない働き

知っておいてほしいこと

副作用は、医薬品を正しく使用しても起こってしまふことがあります。また予期できる場合と、予期できない場合があります。

重い副作用が起こったとき、被害を受けた人に医療費などが給付される“**医薬品副作用被害救済制度**”があります。

⚠ **ただし、正しく医薬品を使用しなかった（1日1回でよいのに1日3回飲んだ、など）ために副作用が起こった場合は、救済の対象になりません。**

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 ― 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレター、医薬品や健康などについて、質問・相談がある人は保健室まで！

11月19日 12時30分～13時10分

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授（学校薬剤師） 大柳賀津夫
北陸大学薬学部薬学科5年生 村中佑晟・木山美佳